18「夜雨寄北」（李商隠）

　　　㆑　　李商隠

　㆓　㆒①未㆑ 有㆑ 期

　　夜　雨　㆓秋　㆒

　②㆘ 　㆓西　 ㆒

　㆗ 巴　山　夜　　㆖

べキ

（『唐詩選』巻八）

語注

＊君…作者の妻をさす。

＊巴山…中国省にある地名。

＊剪…ロウソクの芯を切って、炎が明るく輝くようにする。

＊燭…ロウソク。

問１　―線部①について、

⑴書き下し文に改めよ。

〔　　　　　　　　　　　　　 　　　　　　　〕

⑵現代語訳として最も適当なものを次から選び、記号を○で囲め。

ア　期間は限られてしまっている。　　イ　まだ時期は決まっていない。

ウ　すぐに期限はやってくる。　　　　エ　もう期日は過ぎている。

問２　□を補うのに最も適当な字を次から選び、記号を○で囲め。

ア　沼　　イ　川　　ウ　海　　エ　池

問３　―線部②で作者が思い描いている情景を表現した絵として、最も適当なものを次から選び、記号を○で囲め。（図省略）

問４　詩にうたわれた心情として最も適当なものを次から選び、記号を○で囲め。

ア　寂寥　　イ　盛衰　　ウ　憧憬　　エ　惜別

【解答】

問１　⑴未だ期有らず。　⑵イ

問２　エ

問３　イ

問４　ア

書き下し文　夜雨北に寄す／君帰期を問ふも未だ期有らず／巴山の夜雨秋池に漲る／何か当に共に西窓の燭を剪りて／却つて巴山夜雨の時を話るべき

現代語訳　あなたは（私に）いつ帰ってくるかとその時期をおたずねだけれども、まだ時期はきまっておりません／（いま私のいる）巴山では夜雨が降っていて、秋の池に水がいっぱいにみなぎっています／いつになったら（都に帰って、）あの西の窓ベで一緒にロウソクの芯を切りながら／巴山で（ひとりさびしく）夜の雨をきいた時のことを思い出して、語ることができるのだろうか。

ポイント

問１　「未」は再読文字。まず「未だ」と読んでおいて、最後に「〜ず」と再び読む。